

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	港
学 校 名	波除小学校
学校長名	石井 力

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 102 名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科においては、平均正答数は大阪府平均を0.1ポイント上回るが、全国平均には0.2ポイント及ばない状況である。「我が国の言語文化」について全国平均と比べて7.6ポイントと一番大きな開きがある。「書く」について3.1ポイント上回った。

算数科においては、平均正答数は大阪府平均より0.5ポイント、全国平均より0.4ポイント上回っている。「図形」について全国平均と比べると2.3ポイント下回った。「数と計算」については4.5ポイントと一番大きく上回った。

全国および大阪府の分布が右側に偏った山であることに對して、本校は左側にも山に近い分布が見られ、二極化の傾向にあるといえる。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕本校は国語科の研究に取り組んで3年目になる。今年度は文学的文章を通して読解力の向上をめざすとして研究に取り組んでいる。「読む」領域においては、「話す聞く」「書く」の領域に比べると全国平均を下回るものが多かった。最も正答率が高かったのは、「情報の扱いに関する事項」で、最も正答率が悪かったのは、「言葉の特徴や使い方に関する事項」であった。今後、研究を具体的に進めていき、授業改善をさらに図る必要がある。

〔算数〕概ね全国平均を上回っている。特に「数と計算」においては大きく上回った。「図形分野」については下回る結果となった。特に「見取り図」についての問題は大きく下回った。最も正答率が高かったのは、「数と計算」領域で、最も正答率が悪かったのは、「図形」領域であった。日々の指導の成果とともに、課題となる分野の指導をさらに進めていく必要がある。

質問調査より

本校では、昨年度より「いいところみつけ」と「人権アンケート」を毎月実施し、自己肯定感の向上をめざしている。「自分にはよいところがあると思いますか」の質問には52.5%の児童が最も肯定的な回答、90%の児童が肯定的な回答をしており、大阪府・全国平均を上回っている。

また「先生はあなたの良いところを認めてくれていますか」の質問には39.4%の児童が最も肯定的な回答をしており、86%の児童が肯定的な回答をしている。これは大阪府・全国平均をしたまわる結果となった。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対しては、97%の児童が肯定的に回答しており、大阪府・全国平均を上回った。

## 今後の取組(アクションプラン)

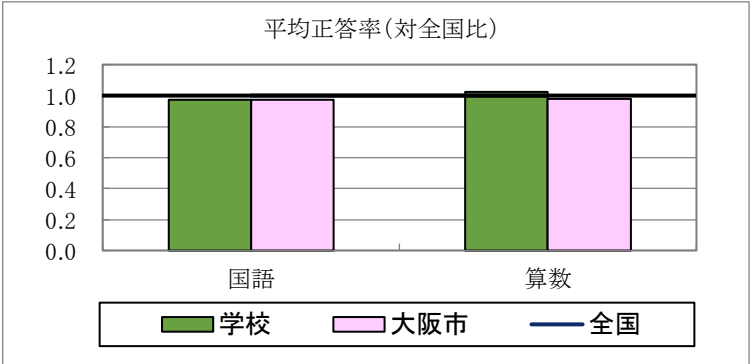
学力向上の取り組みとしては、スクールアドバイザーを中心に月に2回程度、経験5年未満の教員を中心に指導にあたっている。今年度も全員授業に取り組み教員全員が年度内に1回以上授業を公開する。互いに授業を公開し指摘しあうことで授業力の向上をめざしている。引き続き、授業力の向上をめざして研究授業や公開授業に取り組んでいく。

また、経験10未満の教員を中心に月に1回程度メンター研修に取り組んでいる。お互いに研修材料を出し合うことで経験に沿ったニーズに対応した研修を行っている。授業力の向上のみならず、教材研究の仕方や学級経営など、教員としての総合的な資質向上をめざして取り組みを続けていく。

【 全体の概要 】

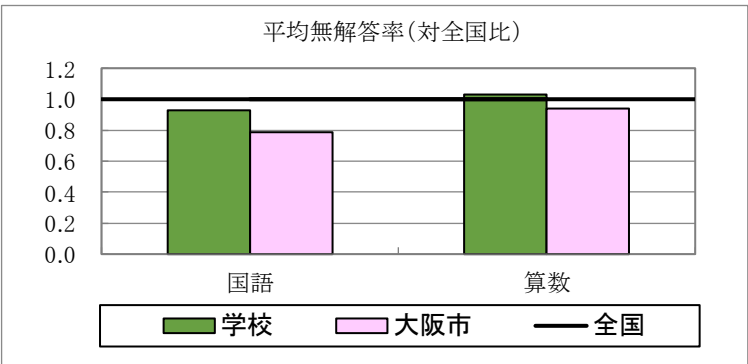
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	66	65
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



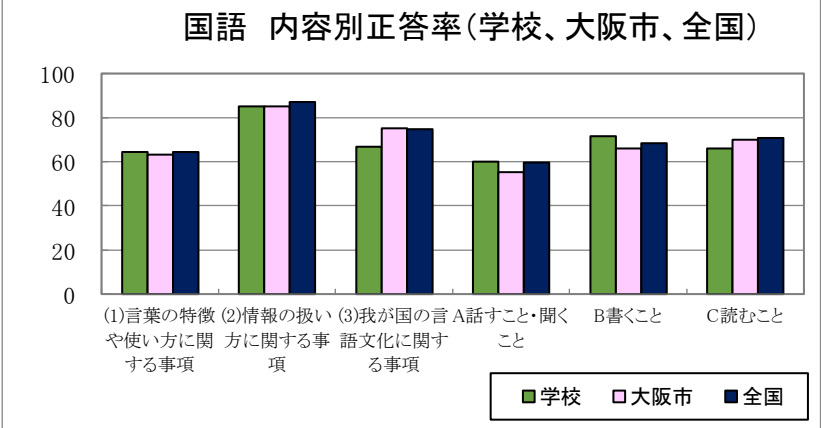
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.9	3.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



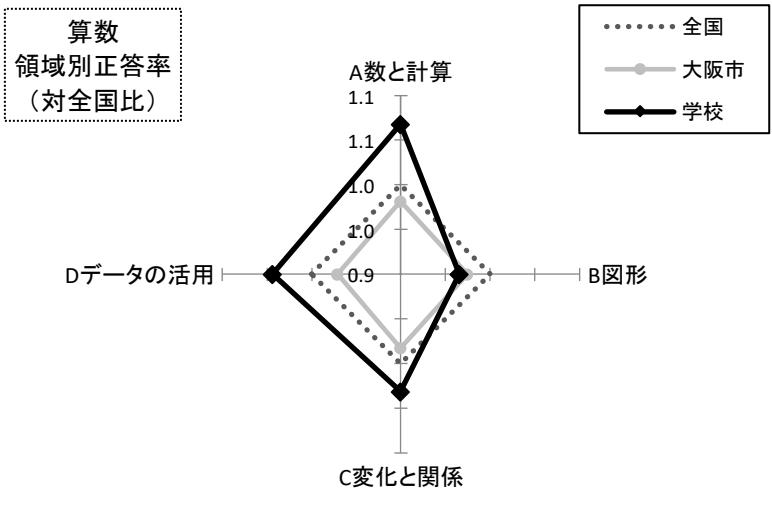
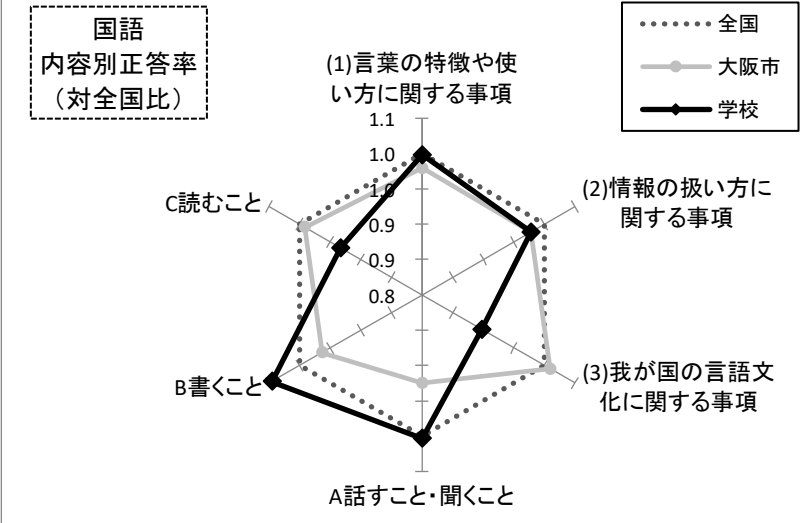
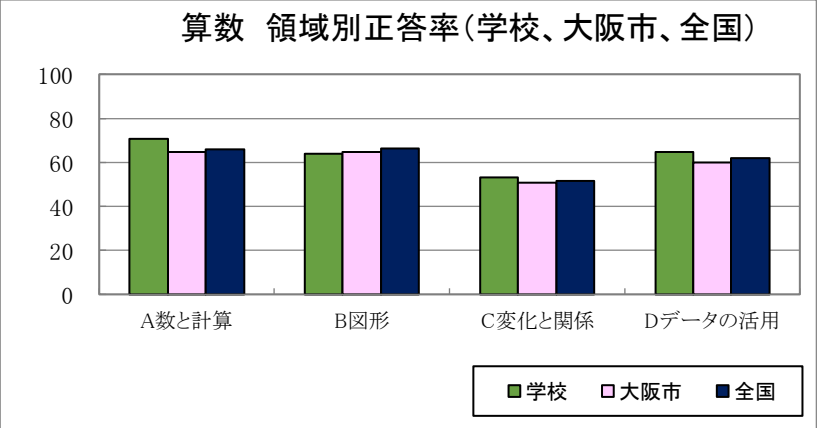
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	64.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	85.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	67.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	60.0	55.3	59.8
B 書くこと	2	71.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	66.0	70.1	70.7



【 算 数 】

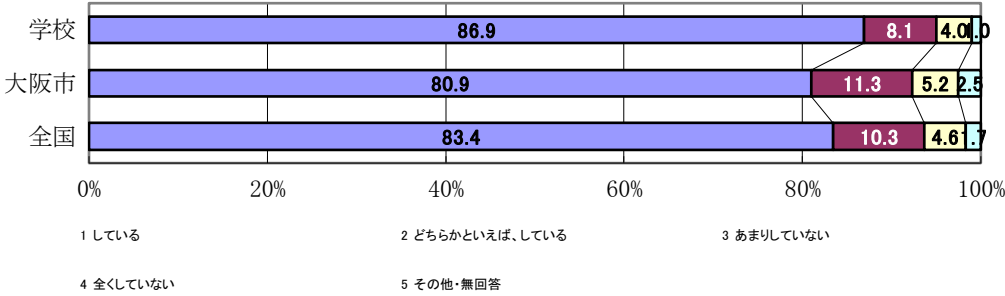
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	70.5	64.8	66.0
B 図形	4	64.0	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	53.3	50.8	51.7
D データの活用	4	64.5	60.0	61.8



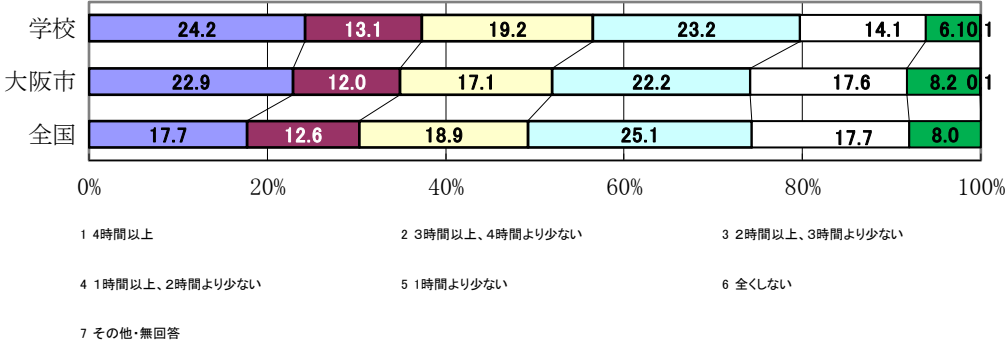
児童質問より

質問番号
質問事項

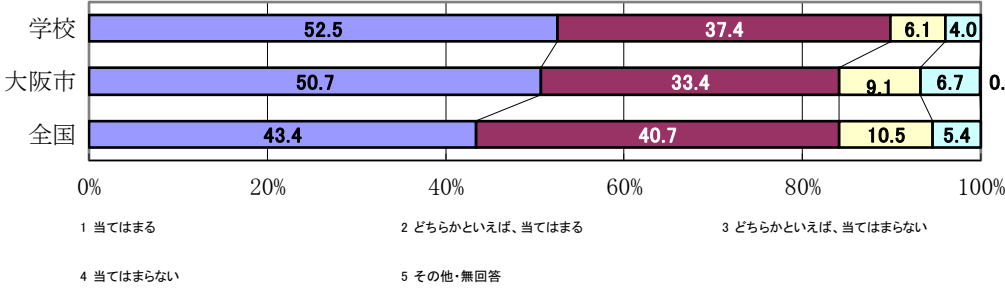
1
朝食を毎日食べていますか



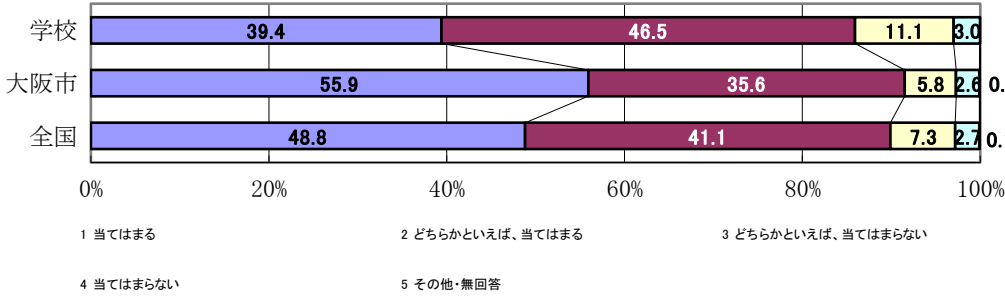
5
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



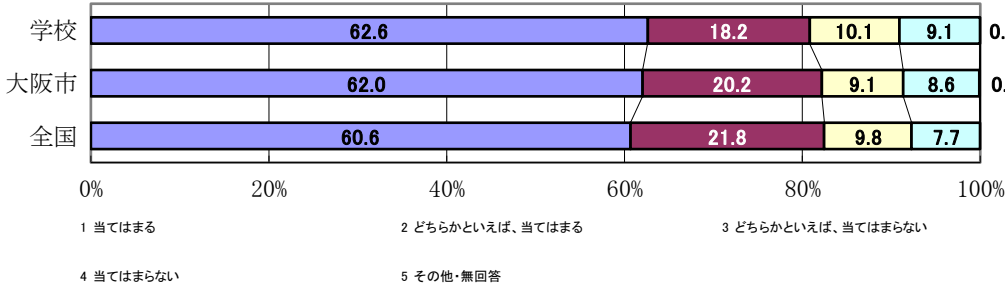
9
自分には、よいところがあると思いますか



10
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



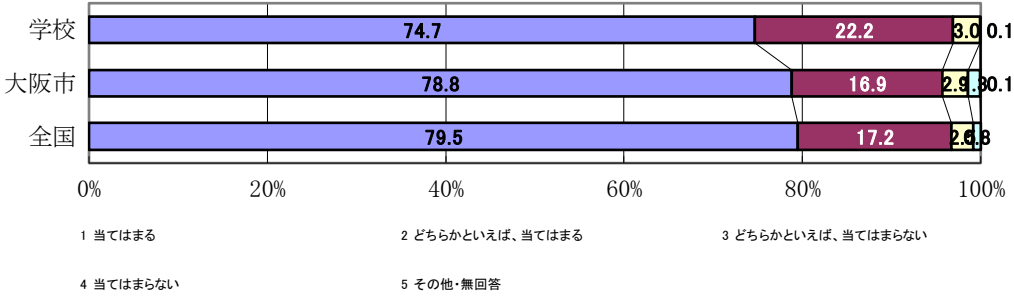
11
将来の夢や目標を持っていますか



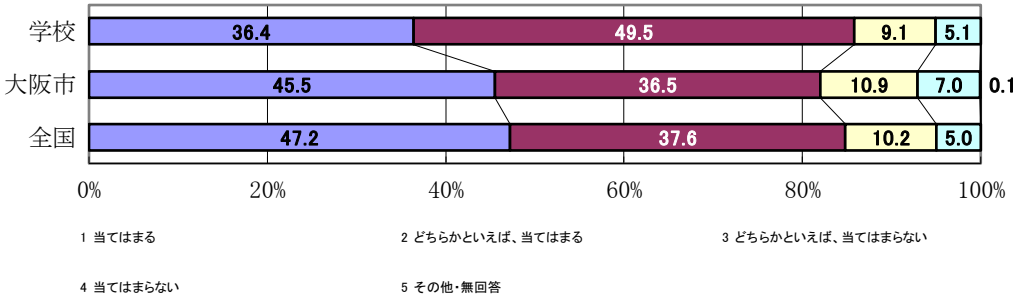
児童質問より

質問番号
質問事項

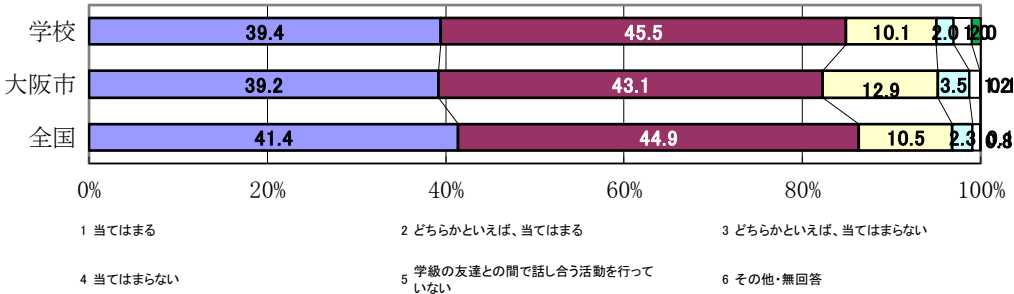
13
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



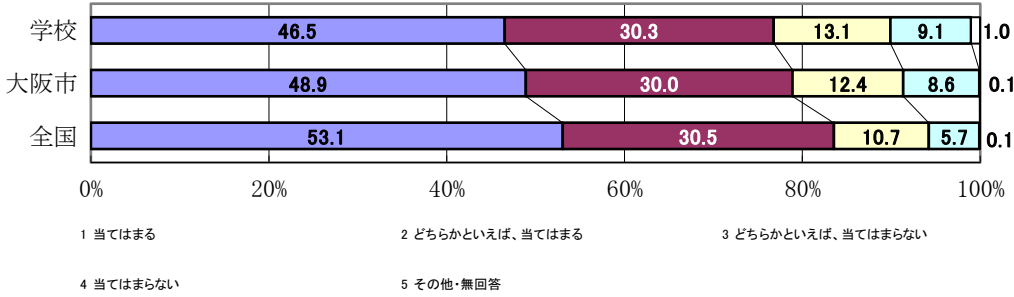
16
学校に行くのは楽しいと思いますか



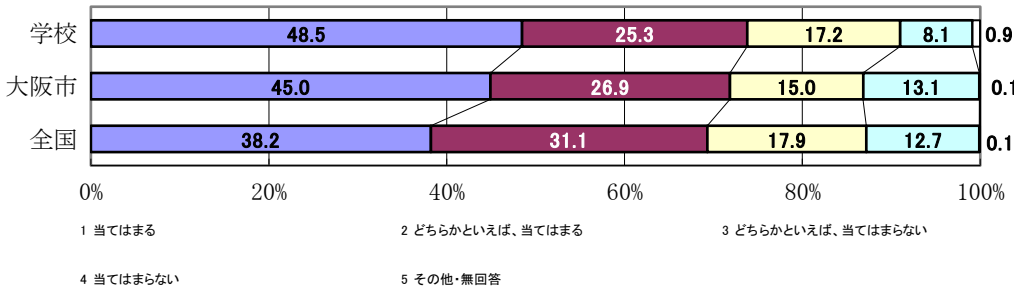
33
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



58
理科の勉強は好きですか



61
英語の勉強は好きですか

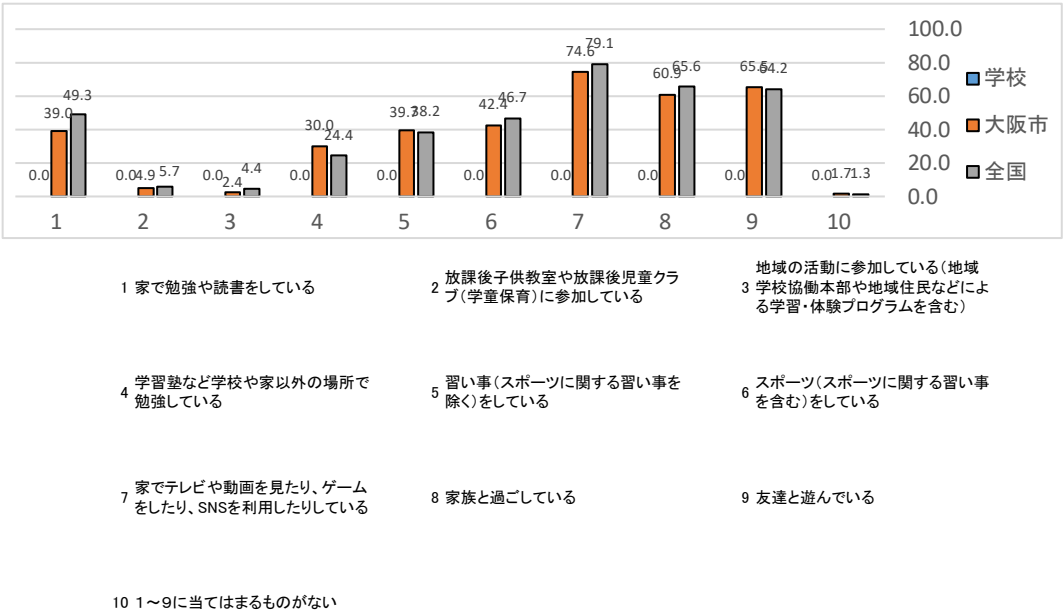


児童質問より(26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を  
過ごことが多いですか  
(複数選択)



学校質問より

質問番号  
質問事項

16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

56

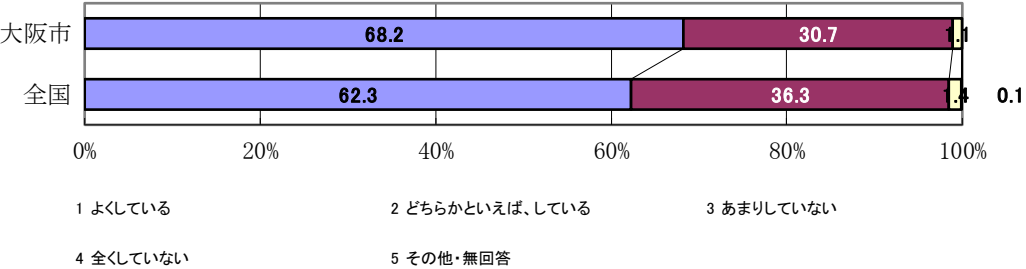
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

64

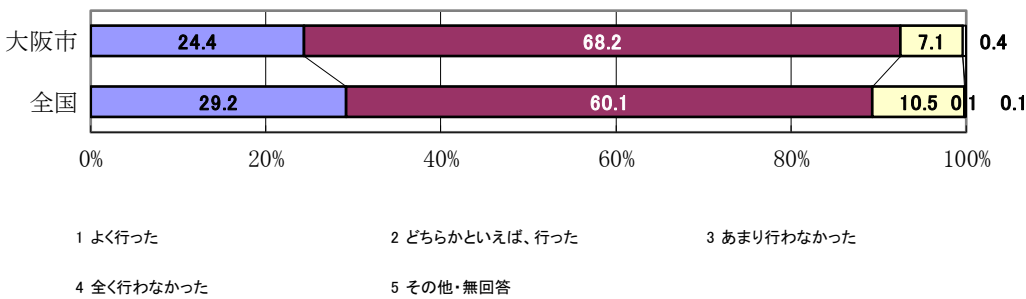
児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

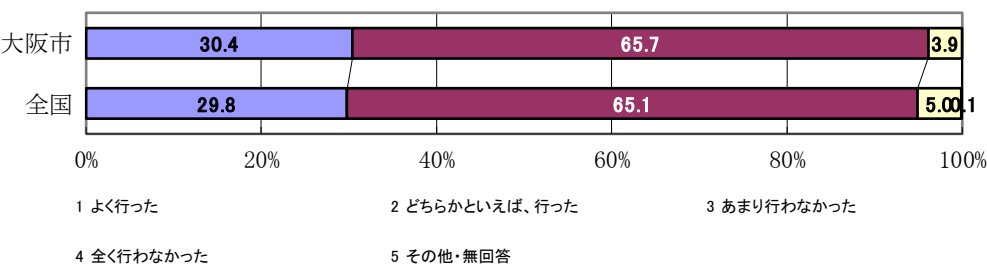
学校 「よくしている」を選択



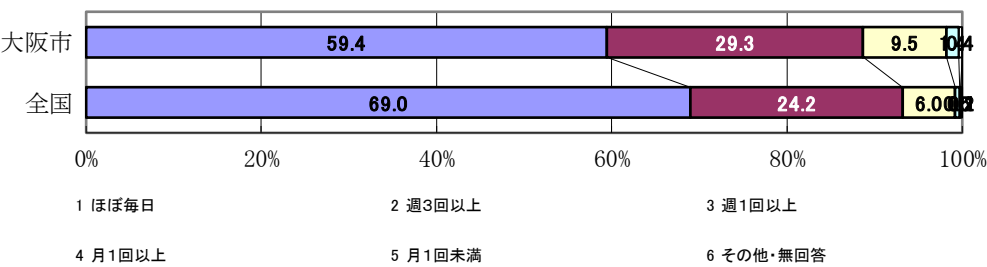
学校 「よく行った」を選択



学校 「よく行った」を選択



学校 「ほぼ毎日」を選択



学校 「」を選択

